

江東区の公園

- 1 公園を取り巻く社会動向
- 2 公園の現状
- 3 区民や利用者のニーズ

1. 公園を取り巻く社会動向

(1) 社会動向

人々のライフスタイルや価値観の変化、気候変動への適応等の複合的な課題解決に向けては、まちづくりの中で公園に求められる役割が多様化することに伴い、公園整備や管理運営のあり方について変化が求められており、**公園の役割**は、区民の憩いやレクリエーション、健康増進の場の提供に加え、都市環境の改善、防災拠点、コミュニティ形成、文化交流の促進等**多岐に渡っており、都市における様々な課題の解決と切り離せないもの**となっている。

1) 公園に関する国や東京都の動向

■ 都市公園の柔軟なあり方に関する検討会提言（国土交通省／R4.10）

人中心のまちづくりの中でポテンシャルを最大限発揮するため、パートナーシップの公園マネジメントで多様な利活用ニーズに応え、地域の価値を高め続ける「**使われ活きる公園**」を目指す。

そのために従来の公園整備・管理運営から、3つの変革（公園を**まちの資産とする**・**個性を活かす**・**共に育て共に創る**）が必要であることを提示している。

■ 東京都パークマネジメントマスタープラン（東京都／R6.3改定）

成長と成熟が両立した都市・東京の実現に向け、都民の財産である都立公園のポテンシャルを更に引き出し、都市が抱える様々な課題の解決にも寄与していくことを目指し、2040年代の都立公園の目指す姿、「**豊かな緑を育み、次世代へとつなぐ公園**」、「**東京の活力と魅力を高め、まちづくりの核になる公園**」、「**都民一人ひとりのウェルビーイングに貢献する公園**」を目標として設定している。

さらに、目指す姿の実現に向け、「**まもる**」「**ふやす**」「**かえる**」の3つの視点からマネジメントを推進することとしている。

2) 公園に関連する社会動向と他自治体の取組み

「都市公園の柔軟なあり方に関する検討会提言（国土交通省／R4.10）」では、新たな時代における都市公園の意義・役割として、**① 持続可能な都市を支えるグリーンインフラ**、**② 心豊かな生活を支えるサードプレイス**、**③ 人と人のリアルな交流、イノベーションを生み出す場**、**④ 社会課題解決に向けた活動実践の場**、**⑤ 機動的なまちづくりの核**、を挙げている。

以下に、これらの新たな意義・役割を果たす公園の取組み事例を整理した。

① 持続可能な都市を支えるグリーンインフラ

【他自治体等における取組み】

● 公園におけるみどりの保全・豪雨対策（東京都・世田谷区）

世田谷区では、グリーンインフラを「自然環境の有する多様な機能を賢く活用し、持続的で魅力あるまちづくりを進める取り組み」と捉え、みどりの保全や豪雨対策を推進している。

グリーンインフラの視点を取り入れた施設整備の一環として、都市公園等に雨水貯留浸透機能を持つ窪地状の植栽地（雨庭、レインガーデン）や緑溝等を整備し、整備した施設を「せたがやグリーンインフラライブラリー」としてまとめ、区HPにおいて一般公開している。

名称	位置	所在地	面積	種別	公園
施設名	世田谷区立月見台公園	世田谷区月見台	約1,415.0㎡	公園	公園
施設名	世田谷区立月見台公園	世田谷区月見台	約1,415.0㎡	公園	公園

【出典】せたがやグリーンインフラライブラリー

② 心豊かな生活を支えるサードプレイス

【他自治体等における取組み】

● こどもの居場所づくり（東京都・練馬区）

練馬区では、「自然×冒険×交流」をコンセプトとして、樹林地や農地等、練馬に昔からあるみどりを活かし、木の実や土、水といった自然の素材を使って自由に遊べる公園「こどもの森」を整備した。事前申請制により、保育園、幼稚園等が団体利用することも可能である。「こどもの森」拡張にあたっては、仮設のツリーハウスを設置し、実際に利用し意見をもらう社会実験を実施している。



【出典】練馬区HP

③ 人と人のリアルな交流、イノベーションを生み出す場

【他自治体等における取組み】

● 地域のアイデアによる小規模公園活用プロジェクト（東京都・豊島区）

豊島区では、区内全域の公園実態調査を基にモデル公園を選定し、「〇〇できる公園」井戸端かいぎ等により地域のニーズ、アイデアを集め、移動式のツール「PARK TRUCK」によるドリンク・焼き菓子提供、絵本の貸出等、小さな公園の活用の実践と検証を実施している。

さらに、公園実態調査のデータはデータベース化し、公園の運営、公園に関する情報発信に活用している。



公園での井戸端かいぎ

【出典】豊島区HP

④ 社会課題解決に向けた活動実践の場

【他自治体等における取組み】

● 公園をきっかけとした共生社会の実現（東京都・小金井市）

小金井市では、公園整備をしたら終わりではなく、整備後にいかに障害のある子どもが「行きたくなる、居てもいい」と思ってもらえるような公園づくりのため、情報発信を通じて、地域住民を巻き込みながら、インクルーシブデザインに配慮した公園の空間づくりを推進し、公園から共生社会の実現を目指している。

取組みの一環として、インクルーシブ遊具の試験設置、嚥下障害の方向けの食事を提供する等、これまで公園に来園できていなかった子どもや保護者を含む多くの人々が楽しめる、インクルーシブな公園イベントを実施している。

⑤ 機動的なまちづくりの核

【他自治体等における取組み】

● 「みどり」と「イノベーション」の融合したまちづくりに向けたトライアル（大阪市・大阪府）

大阪市北区では、2024年に先行まちびらきを迎えるうめきた 2期地区開発プロジェクトのトライアルとして、「みどりの「リビングラボ」」をコンセプトに、未来のまちづくりに向けた実証実験フィールドを設置している。

民間事業者との期間限定の共同運営により、快適で居心地の良い空間づくりオープンスペースとしての開放や企業参加・市民参加型のまちづくり企業と地域コミュニティの融合によるオープンイノベーションを促進している。多種多様な企業・団体や近隣店舗・地域住民等との連携、参加が図られている。

1. 公園を取り巻く社会動向

(2) 公園に関する区上位・関連計画

江東区においても、**公園はまちを構成する重要な社会インフラの一つとして、まちづくりとの連携、様々な課題解決への活用が求められており**、上位計画や様々な分野における関連計画において役割・取組み等が位置づけられている。

1) 上位計画

江東区基本構想

- 水辺に親しむ空間の整備・活用や、水辺と緑の連続性を考慮したまちづくりを進め、江東区の特徴である豊かな水辺を活かした、緑豊かなまちなみの形成を図るとともに、まちの中に身近な緑を増やしていく。
- 地域間のバランスにも配慮しながら、公共施設の適正配置、都市基盤の適切な整備、良好な景観形成を進める。

江東区長期計画

- 区内を縦横に流れる河川や運河等の豊かな水辺を活かした親水公園や水辺・潮風の散歩道等の整備に取り組む。
- 地域の特性や区民のニーズを反映しながら、公園の緑の保全や身近な水辺と緑を感じる空間づくりを進める。
- 緑陰の確保や魅力ある良好な景観を形成するため、区立公園・児童遊園の適切な維持管理を推進する。

江東区都市計画マスタープラン

- 5つの「目指すべき江東区のまちの姿」の実現に向けて、8つの「まちづくりのテーマ」を設定している。各テーマでは、水辺、公園、緑地における取組みや求められる機能・役割を記載している。
- 地区別まちづくり方針においては、地区ごとの公園を活かした方針が示されている。

江東区みどりの基本計画

- 本計画は、みどりの中の都市（CITY IN THE GREEN）の実現をテーマとしている。
- 令和6年度の間見直しでは、「新たに対応が求められる課題」として以下の5つが整理された。
 - 新たなみどりの創出とみどりの保全・維持が必要
 - ネイチャーポジティブの実現に向けた取組が必要
 - 地球温暖化、気候変動への適応等の複合的な課題解消に向け、グリーンインフラの推進が必要
 - 江東区に訪れてみたい、住んでみたい、住み続けたいと思ってもらう取組が必要
 - 区民・事業者。区の協働による取組を加速していくことが必要
- 公園・緑地の様々な機能を十分に発揮させるため、「公園・緑地の整備・管理方針」において4つの基本的な考え方が示されている。
 - 1 水彩都市・江東の魅力づくりに活かす公園・緑地をつくります
 - 2 より柔軟に使えるような公園・緑地をつくります
 - 3 安全と生命を支える公園・緑地をつくります
 - 4 みんなで守り育て伝える公園・緑地をつくります

2) 関連計画

江東区環境基本計画

- 公園・街路樹等の緑地や水辺の整備をさらに充実させるとともに、生物多様性の保全に向けた更なる取組の充実を図っていく。
- 水辺と一体となったみどり、そこに生息・生育する生きもの等の自然資本を維持・管理・充実させることで、地域の価値や魅力の向上を実現する。
- 地域の歴史的背景や特性に応じた樹種を公園等に植栽することで、魅力ある地域づくりを目指す。
- まちの顔となるシンボルツリー等を整備する。
- 区立施設や公園に宿根草をベースとしたガーデンを整備し、にぎわいの創出やまちの
- 景観向上を図るとともに、講座の開催により地域で育む緑化の取組を進める。

江東区公共施設等総合管理計画

- 定期的な保守・点検により老朽化の状況を把握するとともに、改修の優先順位を定めて適切な改修に取り組むことで、公園が創出する豊かな生活環境の確保を目指す。
- 高齢者や障害者を含めた全ての人が安全、安心、快適に暮らし、訪れることできるまちづくりを進めるため、バリアフリー法、東京都福祉のまちづくり条例及び同条例施設整備マニュアルに基づき、ユニバーサルデザイン化を着実に推進する。
- 「ゼロカーボンシティ江東区」の実現をめざし、区道や区立公園・児童遊園等に設置している老朽化した街路灯の改修にあたり、省エネルギー化を図り、環境負荷を低減する。
- 区立公園における公募設置管理制度(Park-PFI)等の民間活力の導入や民間施設の賃借、定期借地権方式等の導入等についても検討していく。

江東区こども計画

- 区民ニーズや公園の利用者層・利用形態を踏まえ、周辺の公園機能とのバランスに配慮しながら、地域に愛される公園になるようリニューアルに取り組んでいく。
- ボール遊びをはじめとした地域特性に応じた利用ルールづくり等、利用者満足度の高い管理・運営を目指す。

江東区地域防災計画

- 地震に強い都市づくりの実現に向けて、安全な市街地の整備、公園等のオープンスペースの確保等の取組を推進していく。
- 区立公園のうち、関東大震災による帝都復興計画に基づき、復興小学校に隣接して整備された復興小公園について、拠点避難所と一体となった防災拠点として防災機能の充実を検討していく。
- 公園は、一時集合場所としての選定や避難場所として指定されている。

江東区スポーツ推進計画

- スポーツ実施環境の現状と課題として、公園等の生活に身近な場のスポーツ・運動の環境整備の必要性等、公共の場で安全にスポーツすることができる環境の充実が必要としている。

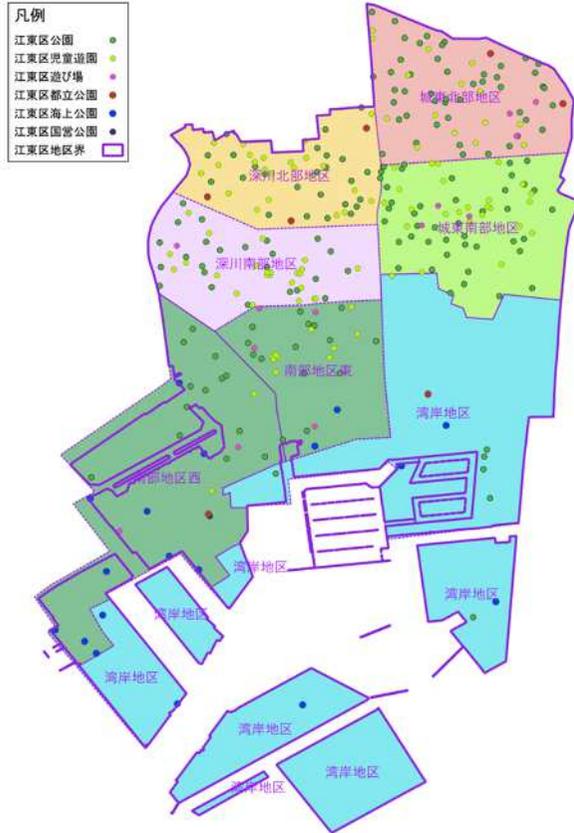
2. 公園の現状

(1) 公園の整備状況

区全体で見ると、**面積・面的な配置は充足**しているが、**地区ごとに整備面積や公園種別の偏り**が見られ、広域的な公園が住区基幹的な役割を、住区基幹の公園が都市基幹的な役割を担っている公園も見受けられる。また、**区内には様々な機能・特徴のある公園が整備されているが、その配置については偏り**が見られる。

1) 区内公園の概要

- 区内には173の区立公園、99の区立児童遊園、13の遊び場等が整備されているほか、7の都立公園、19の海上公園、1の国営公園が立地している。
- 区内には親水公園や海上公園等、**まちの特徴である水辺を活かした公園が多く整備**されている。
- 区立公園の多くは、**面積の限られた住区基幹公園**である。
- 地区別に公園の整備状況を見ると、**近隣公園のない地区や都立公園が多く立地している地区等、地区によって整備状況が異なっている。**



	区立公園※		児童遊園	遊び場等	都立公園	海上公園	国営公園	計
	住区基幹	都市基幹						
城東北部地区	47	0	15	3	2	0	0	67
城東南部地区	39	3	24	2	0	0	0	68
深川北部地区	26	0	23	0	3	0	0	52
深川南部地区	23	1	24	1	0	0	0	49
南部地区西	12	1	2	2	1	10	1	29
南部地区東	15	0	10	5	0	2	0	32
湾岸地区	5	1	1	0	1	7	0	15
計	173		99	13	7	19	1	312

【地区別の公園整備状況】

※ここでは、街区公園、近隣公園、地区公園、緑道を、地域内の住民が日常的に利用する「住区基幹」とし、総合公園、運動公園、特殊公園を、区内全域の区民が利用する「都市基幹」として分類する。

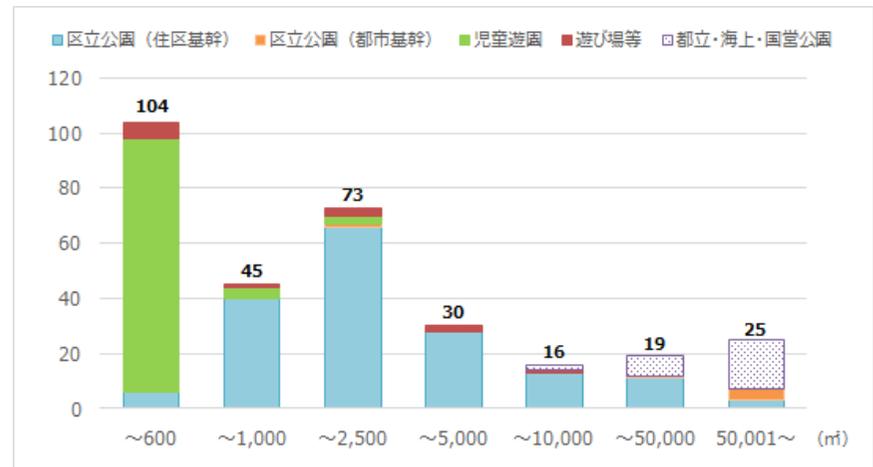
2) 公園面積

- 江東区の公園面積は、578.7haであり、**一人当たりの公園面積は10.65㎡/人と、23区の中で3番目に高い水準**となっている。(R7.4.1時点) ※ 公園面積には、「あそび場等」は含まない。
- 一方で、大規模な公園が多い臨海部で面積が大きくなっている等、地区によって公園整備面積が異なっており、一人当たりの面積に差がみられる。また、地区内に整備されている公園の公園種別も、地区ごとで様々となっている。
- 区内312の公園の内訳は、**600㎡以下の小規模な児童遊園と、2500㎡以下の街区公園や緑道等の区立公園が大半を占めている**。一方、総合・運動・特殊公園等の区立公園や、都立・海上・国営公園は、数は少ないものの5ha程度の大規模な公園が多い。
- 区立の公園は中小規模のものが多いため、バリアフリートイレや女性専用トイレなどの整備に際して建蔽率の制限を受ける場合が多い。

※カッコ内は一人当たりの公園面積（人口出典：住民基本台帳 R7.4.1時点）



【地区別の都市公園整備面積と公園種別】



【公園面積と公園種別の内訳】

2. 公園の現状

(1) 公園の整備状況

3) 公園配置

- 区内の大半が徒歩圏内（半径250m）に都市公園又は児童遊園が配置されている状況であり、**身近に公園がある環境が整備されている。**
- 一部見られる公園徒歩圏外エリアは、ほとんどが工業専用地域や準工業地域であり、事業所や工場等が立地している。

- 凡例
- 第1種中高層住居専用地域
 - 第1種住居地域
 - 第1種住居地域（第3種特別工業地区）
 - 第2種住居地域
 - 準住居地域
 - 近隣商業地域
 - 商業地域
 - 準工業地域
 - 準工業地域（第2種特別工業地区）
 - 工業地域
 - 工業専用地域
 - 公園・緑地
 - 都立・国営・海上公園
 - 児童遊園
 - 河川・運河
 - 250m徒歩圏



【区内の都市公園及び児童遊園の整備状況と徒歩圏】

4) 地域との協働により整備した公園

- 区内には、公園の設計段階からワークショップを実施し、地域と協働して整備した公園がある。
- 大島九丁目すくすく公園（令和7年4月 開園）
- 北砂ふれあい児童遊園（令和6年4月 開園）

5) 公園機能の配置

- 区内全体には、**様々な機能・特徴のある公園が整備されているが、配置には偏りがある。**

【特徴のある公園】

① ボール遊びのできる公園

豊住公園、亀戸九丁目公園、豎川河川敷公園、南砂三丁目公園、潮見運動公園 等

《 ボール遊び 》

『①ボール遊びのできる公園』は、野球、バスケットボール、サッカー等のボールを使った遊びのできる施設がある公園としている。

現在、区の公園ではゴムボール等の柔らかいボールを使った他の利用者や近隣住民に対して危険や迷惑にならない遊びは認められており、今後は、硬いボールを使ったボール遊びもできる公園づくりの検討が求められている。

② 水遊びのできる公園

木場親水公園、古石場川親水公園、豎川河川敷公園、横十間川親水公園 等

③ 芝生・原っぱ広場のある公園

東陽五丁目公園、大島四丁目公園、日曹橋公園 等

④ スポーツ施設のある公園

豊住公園、南砂三丁目公園、潮見運動公園、豎川河川敷公園 等

⑤ ビオトープ（ポケットエコスペース）のある公園

横十間川親水公園、仙台堀川公園、三島橋公園、釜屋堀公園、東陽一丁目第一公園 等

⑥ キャンプ・バーベキューのできる公園

若洲公園、豊洲ぐるり公園 等

⑦ ドッグランのある公園

旧中川水辺公園、豊洲ぐるり公園

⑧ インクルーシブ遊具のある公園

大島九丁目すくすく公園

⑨ 農体験のできる公園

横十間川親水公園

⑩ 防災機能が強化されている公園

潮見運動公園、小名木川防災公園 等

⑪ 歴史・文化を伝える公園

深川公園、東陽公園、川南公園、元加賀公園、森下公園、扇橋公園、八名川公園、臨海公園 等



2. 公園の現状

(2) 公園の管理・運営状況

区立公園の多くが整備後35年以上が経過し、施設や設備の老朽化が課題となっており、区民等から寄せられる意見や陳情としても、公園施設に関する意見や樹木や清掃等に関するものが多い。さらに、利用者のマナーに関する意見も多く、**同一の公園で相反するニーズが求められているケース**も見受けられる。また、管理体制においては、対象公園の増加や多様化するニーズに対応するために、業務委託の件数が多くなっている。

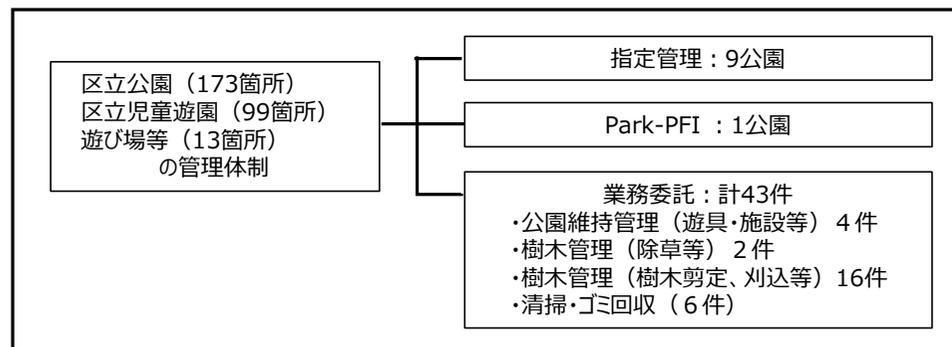
一部の区立公園では、指定管理者制度やPark-PFI事業等の民間活力の導入が進められているほか、**区立公園を活動場所としたNPO法人、ボランティア団体、地元企業、地域住民等の活動が多く行われており、公園の活用に対する積極的な意見も多い。**

1) 管理状況

- 区立公園の多くが、1970年～1980年代に整備され、整備後35年以上が経過しており、補修・改修等を行っているものの、施設や設備の老朽化が進んでいる。
- 区立公園の管理については、一部公園で指定管理者制度が導入されており、さらに若洲公園では、Park-PFI事業が進められている。その他の公園については、業務委託による区での管理となっており、対象公園の増加や多様化するニーズに対応するために、業務委託の件数が多くなっている。
- 区民等から寄せられる、区立公園への意見や陳情等の内訳を見ると、トイレや遊具等を含む公園施設に関する意見や、樹木や清掃等に関する公園の管理等、ボール利用やスケートボード、喫煙、騒音等、利用者のマナーに関する意見が多い。



【区立公園の整備年】



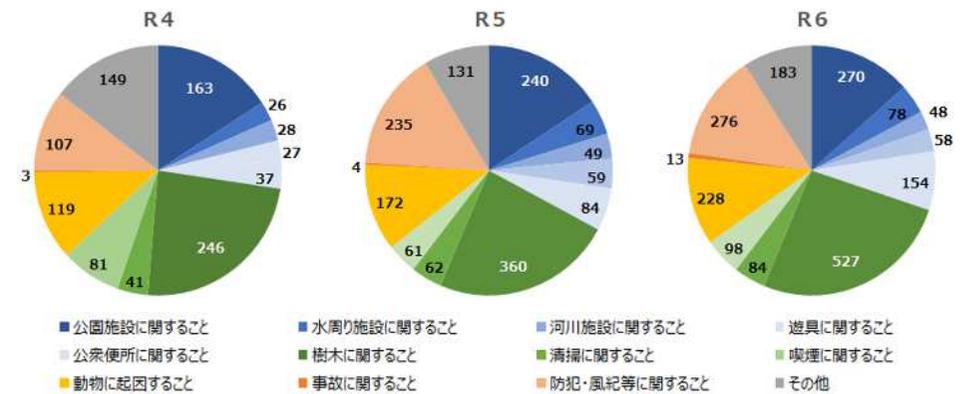
【対象公園の管理体制】

公園名		公園種別
豎川河川敷公園		地区
旧中川水辺公園他3施設	旧中川水辺公園	地区
	亀戸九丁目緑道公園	緑道
仙台堀川公園（一部）		総合
江東区豊洲ふ頭内公園（豊洲ぐるりパーク）	豊洲ぐるり公園	総合
	豊洲公園	近隣
	豊洲六丁目公園	近隣
	豊洲六丁目第二公園	街区
若洲公園		総合

【指定管理者制度を導入している区立公園】

	H29	H30	H31	R4	R5	R6	総計
城東北部地区	136	91	234	342	434	406	1643
城東南部地区	170	147	341	349	551	633	2191
深川北部地区	17	161	137	18	24	228	585
深川南部地区	21	179	174	23	41	305	743
南部地区東	67	55	91	93	139	105	550
南部地区西	132	180	107	95	177	121	812
湾岸地区	0	3	2	15	18	10	48
その他（対象公園外）	124	184	318	128	218	357	1329
総計	667	1000	1404	1063	1602	2165	7901

【年間陳情件数の推移】



【区立公園への意見・陳情等の内訳（過去3年）】

2. 公園の現状

2) 管理者ヒアリング

- 管理者からは特に、**日影や休憩場所の少なさが課題**としてあげられているほか、**植栽の維持管理や施設の老朽化・維持管理について苦慮している**との声が多い。
- 利用者を増やす工夫として、**SNS等の活用や地域住民・周辺施設等との連携等**を行っている。

■ 庁内所管課ヒアリング

時期：令和7年11月 方法：ヒアリングシートによる回答

対象：施設保全課

主な内容：

- 特に樹木や植栽の維持管理や除草において、年間における手入れの最低回数や頻度等定めているが、近年の気候により育成速度が速く、苦情・要望が多い。また、樹木については桜等老木が多くなっており、その更新が課題。
- 主に公園に設置される公衆便所について、1回/日～2回/日清掃を実施しているが、公衆便所は汚いというイメージを払拭できない。また、いたずらや施設の破損も多く、利用マナーの啓発に苦慮している。

■ 区立公園指定管理者ヒアリング

時期：令和7年11月～12月 方法：対面ヒアリング

対象：区立公園指定管理者 3団体

主な内容：

- 日影や休憩場所の少なさが課題であり、日除けやベンチの設置要望も多い。
- 周辺には住居も多く、あまり騒がしいイベントは好まれない。スポーツ・運動利用でも近隣の方から騒音に関する意見をいただくことがある。
- 駐車場もないこともあり、遠方からの来園者があまり多くないため、イベント等でも集客が難しい。
- 親水公園等は園路が長く、近年の気候の変化もあり、植栽の管理が追いつかない状態である。
- 周辺企業やエリア協議会、町会自治会及び江東区施設との連携や、地域住民との交流を大切にしている。

■ 参考) 都立・海上公園管理者ヒアリング

時期：令和7年11月～12月 方法：ヒアリングシートによる回答

対象：江東区内の都立・海上公園指定管理者 8団体

主な内容：

- 日影や休憩場所の少なさが課題であり、利用者からも日影が少ないという声や東屋やベンチ等の休憩場所が欲しいとの要望が多い。(海上公園)
- 施設の老朽化や樹木の老木化、広場の雑草管理等、こまめな管理が必要な状況となっている。(海上公園)
- 他区の都立公園と比較して、地域の方の利用が多い傾向にある。気候に合わせた樹木の健全化、ボランティアの高齢化、ポール遊びについて課題と感じる。(都立公園)
- SNSやHPを積極的に活用した情報発信や魅力あるイベントの開催、地域の団体や企業との連携等の工夫を行っている。(都立公園・海上公園)
- イベント等来園者の多くが区報で情報を得ており、区報掲載による広報力も活用している。(都立公園)

3) 公園における活動

- 現在、江東区では、**NPO法人やボランティア団体、地元企業、地域住民等による公園の管理・活用**が行われているほか、町会・自治会により盆踊り、運動会、防災訓練等、地域イベントの場としても利用されており、**多様な主体による、地域資源やまちづくりと連携した公園の更なる活用**が期待されている。

【主な活動例】

■ コミュニティガーデン

- ボランティア団体により、区施設の花壇を利用して花やみどりを育て、地域の憩いや交流の場をつくる活動。現在は、91団体（令和7年12月時点）が活動を行っており、そのうち約80団体が、区内の公園を活動場所としている。
- 区では、活動を支援するため、花苗、堆肥、園芸器具等を提供するとともにアドバイザーの派遣や見学会、新たな活動団体を立ち上げるための講座等のイベントを実施している。

■ ポケットエコスペース

- 区では、より豊かな生態系の保全を目的に、公園や学校の一角に湿地や草地を備えた小規模なビオトープ「ポケットエコスペース」を整備しており、現在、12箇所の区立公園に整備されている。
- ポケットエコスペースの管理作業は、みどりのボランティア団体「こうとうビオトープネットワーク」および「NPO法人ネイチャーリーダー江東」により行われている。

■ 田んぼの学校

- 横十間川親水公園内にある田んぼでは、ボランティア団体「江東田んぼクラブ」が企画運営をし、区民と一緒に稲作体験を行う「田んぼの学校」が行われている。
- 4月～11月の全10回を通じて行う『無農薬』『無化学肥料』『無動力』で昔ながらの手法、昭和の農機具を用いた、お米づくりの体験は区民からの人気も高く、令和6年度の当選倍率は約9.2倍となった。

■ 江東区アダプトプログラム（こうとうまち美化応援隊）

- 区内では、区民等で組織された団体が、区道、区立公園等の一定の区域を養子に見立て、里親が我が子を想うような愛情を持って定期的に清掃するボランティア活動「江東区アダプトプログラム（こうとうまち美化応援隊）」が実施されており、多くの区立公園が活動場所として、区民団体や区内企業等によって清掃されている。

■ 活動団体ヒアリング

実施：令和7年11月～12月 方法：ヒアリングシートによる回答、又は対面ヒアリング

対象：グリーンコミュニティ会議参加団体 回答数：9件

主な内容：

- イベント開催や活動のための予算確保、備品の保管場所、スタッフ確保、近隣対応、敷地所有者との調整、許認可手続き等が課題。
- 区立公園をまちづくりの拠点として、公園内部の取組みはもちろん、周辺エリアの企業や市民活動との相乗効果を狙った連携活動に力を入れてけると良い。
- 江東区の公園がより魅力的な場所になるためには、行政・指定管理者・住民・事業者が対話しやすい「開かれた公園運営」が重要と感じる。
- 公園の幅広い利用を考えた場合、土木部のみではなく、地域振興部、こども未来部、福祉部等、他部署との連携が必要になると考える。
- 江東区は水辺に恵まれた地域であり、公園と川・運河・親水空間が一体となった活用ができると、回遊性が向上し、街全体の魅力づくりにもつながる。

2. 公園の現状

(3) まちと公園

江東区には、**公園の個性の創出や魅力向上の要素として連携・活用が期待できる、地理的特徴や歴史文化資源と親和性の高い、ポテンシャルのある公園**が複数存在するほか、公共交通機関に隣接する**アクセシ性の良い公園**や文化センター等多くの区民が利用する公共施設と隣接している公園、小学校や児童館等、特定層が多く集まる公共施設に隣接する公園等、**まちづくりとあわせた、地域や立地の特徴を考慮すべき公園**も複数存在する。

1) 地理的特徴と公園

- 城東地区・深川地区は西側には隅田川、東側には荒川、旧中川が流れており、地域内を流れる河川沿いや埋め立てた細長い親水公園が多く整備されている。
- 親水公園に加え、河川や運河等の水辺空間に隣接する区立公園が多く整備されている。
【例】豊洲ぐるり公園、旧中川水辺公園、中の島公園、潮見さざなみ公園、扇橋河川公園 等
- 南部地区・湾岸地区には運河や海に面した大規模な海上公園が多く整備されている。

凡 例
 公園・緑地
 都立・国営・海上公園
 児童遊園
 河川・運河
 航空路
 運休中
 休止中
 主な舟着場（管理主体別）
 区
 都
 国
 民間
 ※黒枠は区内防災船着場を示す



2) 交通基盤と公園

- 鉄道駅から近い比較的大規模な公園としては、都立公園が多いが、一部区立公園もみられる。
【例】豊洲公園（豊洲駅）、南砂三丁目公園（南砂町駅） 等
- 区内鉄道乗降者数（乗換利用を除く）は、豊洲駅が最も多いとされ、次いで東陽町、亀戸駅が多いことから、小規模な公園でも、利用者の多い鉄道駅の目の前に立地するアクセシ性の良さが強みとなる、ポテンシャルのある公園もみられる。
【例】亀戸駅前公園（亀戸駅）、東陽公園（東陽町駅）、深川公園（門前仲町駅） 等
- 地下鉄8号線延伸に伴う新駅周辺のまちづくりにおいても公園の担う役割が期待されている。

凡 例
 公園・緑地
 都立・国営・海上公園
 児童遊園
 都市計画道路
 鉄道
 河川・運河
 駅徒歩圏（半径500m）
 - 乗降客数（万人/口） -
 1万未満
 1万～5万
 5万～10万
 10万～15万
 15万以上



2. 公園の現状

3) 公共施設と公園

- 区内の文化センターには公園が隣接しており、そのほか区民館、地区集会所に隣接する公園も多い。

【例】高森公園（森下文化センター）、北砂公園（砂町文化センター）、古石場親水公園（古石場文化センター）、亀戸駅前公園（亀戸文化センター）等



- 学校等に隣接する公園も多く、放課後は子どもたちの利用も多い。また、保育園や学校の授業での公園利用もみられる。

【例】小学校…深川公園、東陽公園、川南公園、元加賀公園、森下公園、扇橋公園、八名川公園、臨海公園 等
児童館…牡丹町公園、東雲公園 等



2. 公園の現状

4) 歴史文化資源と公園

- ・ 城東地区・深川地区に歴史文化資源が多く存在しており、公園に隣接している資源も多い。
【例】深川公園、亀戸平岩公園、潮見しがさわ公園、震災復興小公園（7公園）等



5) 観光・レクリエーション・商業施設等と公園

- ・ 区内には観光・レクリエーション施設が広く分布し、公園内や隣接している区立公園も複数みられる。
【例】深川公園、仙台堀川公園、横十間川親水公園、豊洲ぐるり公園 等



2. 公園の現状

【参考】来訪者（区外居住者）の区内滞在地と公園

- 区外からの来訪者の滞在地について、平日はオフィスや事務所等の集積する豊洲・東陽・新砂等に集中し、休日は大型商業施設・観光施設の集中する豊洲・有明等の臨海部に集中する傾向がある。

凡 例

- 公園・緑地
- 都立・国営・海上公園
- 児童遊園
- 河川・運河

- メッシュ滞在者数（人/日） -

- 500 未満
- 500-1000
- 1000-1500
- 1500-3000
- 3000-5000
- 5000-7000
- 7000 以上

オフィスや事務所等の集積する豊洲・東陽・新砂等の公園では、在勤者の休憩やリフレッシュ利用の需要が期待できる。



【平日】



【休日】

大型商業施設・観光施設の集中する豊洲・有明等の公園では、観光客のレクリエーション利用などの需要が期待できる。

6) 民間緑地と公園

- 公園における機能や役割を補完する場所として住民に開かれた、民間企業によって管理されている優良な緑地が整備されており、「みどりのネットワーク」の形成に寄与している。

凡 例

- 公園・緑地
- 都立・国営・海上公園
- 児童遊園
- 河川・運河
- 民間緑地



民間緑地に隣接する区立公園も複数あることから、連携等も考えられる。

3. 区民や利用者のニーズ

(1) 区民アンケート

江東区の公園は、**自然や癒し・リラクセス、遊び、健康づくり等、動的な活動と静的な活動の両面において利用され、評価**されている。一方、**施設・設備の清潔さや暑さ対策**が求められているほか、身近な公園に**ボール遊びや乳幼児の遊び・学びの環境**が求められている。

1) 調査概要

① 江東区 魅力ある公園づくりに向けたアンケート調査

i) 郵送アンケート

対象：江東区在住の18歳以上の方1,000人（無作為抽出）

回答数：337件（回答率…33.7%）

特徴：年代・居住地ともにバランスよく収集。性別はやや女性の回答が多い。

ii) WEB成人アンケート

対象：江東区在住・在勤・在学の18歳以上の方

回答数：923件

特徴：30～40代・女性の回答が多く、居住地区に偏りがある。

iii) WEB子どもアンケート

対象：江東区在住・在勤・在学の18歳未満の子ども

回答数：2,208件

特徴：小学3～6年生・中学生の回答が多く、居住地区に偏りがある。

② インクルーシブな公園づくりのためのアンケート調査

i) WEB外国人アンケート

対象：区内在住、在勤、在学の外国籍の方

回答数：50件

特徴：アンケートは、やさしい日本語・中国語・英語の3か国語に対応。30～40代の回答が多い。

ii) WEB障害者等アンケート

対象：区内在住、在勤、在学の障害者と家族、介助者及び支援施設等職員

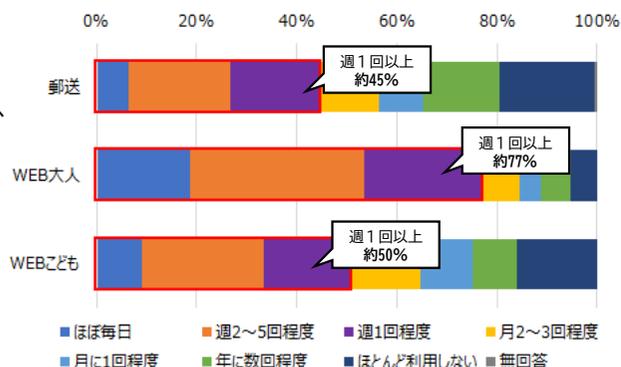
回答数：22件

特徴：ご自身に障害がある方とご家族・介助者の回答が多い。

2) 調査結果概要

■ 公園の利用状況

- 郵送アンケートでは約45%、WEB成人アンケートでは約77%、WEB子どもアンケートでは約50%が、週に1回以上公園を利用している。



■ 利用目的

- 公園を利用する目的として、大人は**四季や景色を楽しむ、子どもや孫と遊ぶ、休憩・休息、自然とふれあう、健康づくり**等が多く、子どもは**友達や家族と遊ぶ**が多い。
- 利用頻度による目的の違いとして、**利用頻度の高い回答者は、遊びや健康づくり等、動的な活動・特定の目的や日常を楽しむ傾向が強く、利用頻度の低い回答者は休憩・休息、四季や景色を楽しむ、なんとなくの利用、イベント参加等、静的な活動・不特定の目的や非日常を楽しむ傾向が強い。**



【利用頻度による目的の違い】

■ 現状の区立公園への満足度

- 現状の区立公園について、**植物の管理状況**や**自然環境の豊かさ**については、大人・子どもともに**満足度が高い**傾向にある。
- 一方、**緑陰や日除け等の暑さ対策の充実度**や**トイレや園地等の施設の清潔さ**について**不満**と感じる人が多い傾向にある。

■ 公園の役割・機能

- 現状の区立公園の役割について、「**安全・安心で快適な都市環境の形成**」の実感がやや**低い**傾向にある。
- 公園や緑地が身の健康に少なからず影響していると考えている人は、大人は75%以上、子どもも70%近くとなり、**日々の暮らしに公園が与える影響は大きいもの**と考えられる。
- 大人は身近な公園に、**休憩・休息、子育て・遊びの場、リラクセス・ストレス軽減**等の機能を求めており、大規模な公園については、**自然や生き物とのふれあい・保全、子育て・遊びの場、スポーツ・レクリエーション、イベント**等を求める声が多い。
- 子どもは公園の距離・規模に関係なく、**遊びの場、休憩・休息、使いやすいトイレ**等の機能を求める声が多い。

■ 新たな公園の使い方

- 身近な公園では、**ボール遊び**ができる環境、**乳幼児が安心して自然に触れ合える場、飲食できるお店やキッチンカー**等を求める声が多くあがった。一方、大規模な公園では**キャンプ場やバーベキュー場**等を求める声が多くあがった。
- 普段公園を利用しない回答者は、**飲食できるお店やキッチンカー**等を求める声が多く、**新たな公園の利用を呼び込む要素**として期待できる。

■ 外国人の傾向

- 回答者の約72%が週に1回以上公園を利用しており、90%以上が、公園や緑地が身の健康に少なからず影響していると考えている等、**日本人以上に公園が日常生活に与える影響は大きいもの**と考えられる。
- 江東区の公園に利用のルールがあることを知っている回答者は、英語・中国語での回答者が、やさしい日本語での回答者より少ない傾向にあり、**看板等のルールの周知についても多言語化を図る必要がある**ことが伺える。

■ 障害者等の傾向

- 週に1回以上公園を利用している回答者は約45%、障害者が利用するうえで必要な設備、環境としては、**休憩スペース、バリアフリーの園路、バリアフリートイレ**等が多い。
- インクルーシブ遊具のある区立公園を知っている回答者は約40%であったが、実際に行ったことがある回答者は0%と、**公園に行くまでのアクセスや周知の工夫等もあわせて考える必要がある**ことが伺える。

3. 区民や利用者のニーズ

(2) 利用実態調査・公園利用者アンケート

江東区の公園には、**多様なにぎわいの要素があり**、休日と平日、時間帯、年齢層等の違いもみられた。一方で、**にぎわいだけでなく、静かな空間としての機能**も求められている。また、**地域のコミュニティ醸成の場**としての役割を担っている公園も見受けられた。

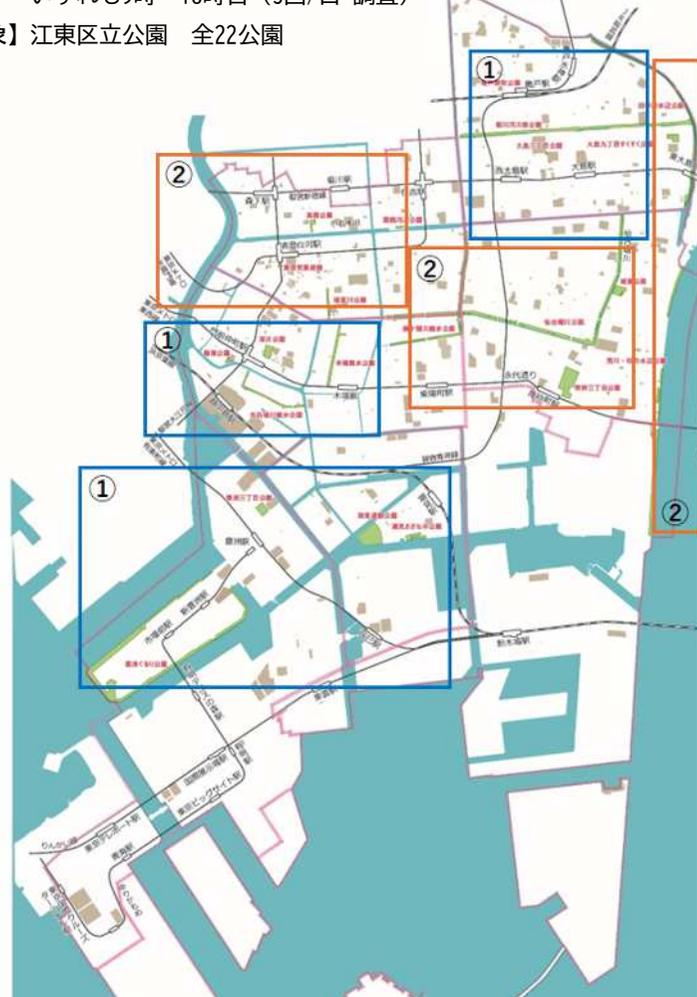
1) 調査概要

【目的】公園の実際の利用状況を確認するとともに、利用者の生の声を把握することで、仮説検証を行い、公園の整備・管理運営の方向性検討に反映する。

【方法】目視調査により、利用者数や属性、利用エリア等を把握するとともに、利用者インタビューを行い、利用目的や公園の魅力・課題等を把握する。1公園あたり、晴天時に平日1回、休日1回の調査を実施。

【実施日】調査① 令和7年11月28日（金）/ 令和7年11月30日（日）
調査② 令和7年12月2日（火）/ 令和7年12月6日（土）
いずれも9時～18時台（5回/日 調査）

【対象】江東区立公園 全22公園



【対象公園位置図】

公園名	特徴	地区
①亀戸駅前公園 仮説1・2	・ 亀戸駅近くに立地し、商業施設や文化センターに隣接	城東北部
②大島三丁目公園 仮説3	・ 500㎡以下の狭小公園 ・ 中学校、高校、団地に隣接	
③竪川河川敷公園 仮説1・2	・ 「スポーツ公園」がテーマの親水公園 ・ 指定管理者制度による管理運営	
④大島九丁目すくすく公園 仮説2	・ 地域ニーズを反映しながら整備した公園 ・ インクルーシブ遊具が設置	
⑤旧中川水辺公園 仮説1・2	・ 水辺のスポーツが楽しめる旧中川沿いの親水公園 ・ 指定管理者制度による管理運営	
⑥城東公園 仮説2	・ スポーツセンターに隣接する交通公園	
⑦南砂三丁目公園 仮説1・2	・ 南砂駅の近くに立地し、商業施設に隣接 ・ ボール遊びのできる広場やスポーツ施設のある公園	深川北部
⑧扇橋河川公園 仮説3	・ 水辺・扇橋閘門（小名木川）に隣接	
⑨高森公園 仮説2	・ 文化センターに隣接 ・ 水辺（小名木川）に隣接	
⑩清澄児童遊園 仮説3	・ 大規模公園（清澄公園）に隣接する500㎡以下の狭小公園	深川南部
⑪福富川公園 仮説2	・ 「木場の香り」がテーマの親水公園 ・ スポーツセンターに隣接	
⑫深川公園 仮説1・2	・ 門前仲町駅近くに立地し、歴史文化施設や商業施設に隣接	南部地区西
⑬臨海公園 仮説2	・ 小学校に隣接する震災復興小公園	
⑭古石場川親水公園 仮説2	・ 「水辺の香り」がテーマの親水公園 ・ 児童館・幼稚園、文化センターに隣接	
⑮木場親水公園 仮説2	・ 「木場の風景」がテーマの親水公園	南部地区東
⑯豊洲くさり公園 仮説1・2	・ 市場前駅近くに立地し、商業施設が隣接 ・ 指定管理者制度による管理運営	
⑰豊洲三丁目公園 仮説2	・ ボール遊びのできる公園 ・ 商業施設に隣接	城東北部・城東南部・ 深川北部・深川南部
⑱潮見運動公園 仮説1・2	・ ボール遊びのできる広場やスポーツ施設のある公園	
⑲潮見さざなみ公園 仮説2	・ 福祉施設や保育園が隣接する水辺の公園	城東南部・湾岸
⑳横十間川親水公園 仮説1・2	・ 「区民の水辺」がテーマの親水公園	
㉑仙台堀川公園 仮説1・2	・ 「区民の森」がテーマの親水公園	
㉒荒川・砂町水辺公園 仮説1・2	・ 荒川沿いのスポーツ施設のある親水公園	

【対象公園一覧】

【対象公園抽出の考え方】

以下の3つの仮説を踏まえながら、前提となる地区の特色、みどりの基本計画地区別取組方針及び公園の持つ特定の機能・役割、立地によるポテンシャル等を考慮し、地区ごとに調査結果を今後の検討に反映できるように、各地区2～3公園（湾岸地区を除く）、加えて区の特色でもある8つの親水公園等を調査対象公園として抽出。

仮説1 江東区の公園のにぎわいは多様な姿がある

仮説2 江東区の公園は多様な機能で近隣住民のウェルビーイングに貢献している

仮説3 江東区の公園の中には隣接する公園同士で機能の再整理を行うべきものがある

3. 区民や利用者のニーズ

(2) 利用実態調査・公園利用者アンケート

2) 調査結果（仮説の検証）

■ 仮説1：江東区の公園のにぎわいは多様な姿がある

- ・地域内外からの多くの利用者でにぎわう、地域住民の利用でにぎわう、スポーツでにぎわう、乳幼児・小学生の遊びでにぎわう等、多様なにぎわいの姿が確認された。
- ・同一の公園でも休日と平日、時間帯、年齢層等で異なるにぎわいが見られる公園もあり、一つの公園で複数のにぎわいの要素をもつ公園も確認された。
- ・曜日や時間帯によってにぎわいが生まれている公園が多く、平日・休日を問わず終日多くの人で賑わっている公園は少ない。
- ・地域外の利用者が多い公園においても、地域住民利用は多く、江東区の公園は来街者と地域利用が共存していると考えられる。

【例】

- 地域内外問わず人が集まりにぎわう
⇒豊洲ぐるり公園 等
- 身近な公園として主に地元の人でにぎわう
⇒深川公園 等
- スポーツやサイクリング等運動利用でにぎわう
⇒南砂三丁目公園・豊洲三丁目公園・荒川・砂町水辺公園 等
- 遊具や広場で遊ぶ子どもたちでにぎわう
⇒南砂三丁目公園・高森公園・深川公園・臨海公園・仙台堀川公園・豊洲三丁目公園・潮見運動公園 等

江東区の公園における『にぎわい』の定義を整理する必要がある。

■ 仮説2：江東区の公園は多様な機能で近隣住民のウェルビーイングに貢献している

- ・公園の立地・特徴によって利用目的が異なる傾向にあり、さらに曜日や時間帯によって利用者層や利用目的が異なることから、江東区の公園は区民のライフスタイルに沿って様々な役割を果たしていると考えられる。
- ・なお、利用者の少ない公園を利用する意見として、「静かだから」、「混んでいないから」という理由であえて選択している利用者も一定数おり、にぎわいだけでなく、静かな空間としての機能も求められている。

【例】

- 歩きやすい道として親水公園が利用される
⇒福富川公園・古石場川親水公園・木場親水公園・横十間川親水公園・仙台堀川公園 等
- 子供たちの自転車練習の場所として人気がある
⇒城東公園
- リードを離して利用できるドッグランの需要がある
⇒旧中川水辺公園・豊洲ぐるり公園
- 釣りができる場所として需要がある
⇒豊洲ぐるり公園・潮見さざなみ公園・荒川・砂町水辺公園 等
- 学校や公共施設に隣接していることから子どもたちに人気がある
⇒深川公園・臨海公園・豊洲三丁目公園・潮見運動公園 等
- 照明設備の充実や立地上、夕方～夜間の利用も見られる
⇒亀戸駅前公園、豊洲三丁目公園、大島九丁目すすく公園 等
- 利用者が多くなく、静かで落ち着いていることが評価されている
⇒潮見さざなみ公園、大島三丁目公園、扇橋河川公園 等

■ 仮説3：江東区の公園の中には隣接する公園同士で機能の再整理を行うべきものがある

- ・隣接する公園との機能や利用の違いがはっきりしている公園と機能の再整理を行うことで公園のポテンシャルがより活かされる公園の両方が見受けられた。

【例】

- 隣接する公園との機能・機能の違いがはっきりしている公園
⇒清澄児童遊園
清澄庭園に隣接し、大通りに面していることから、大半が通行利用のみとなっているが、来街者の休憩場所、休日は地域のボランティア活動等コミュニティ醸成に寄与している。
- 機能の再整理を行うことでポテンシャルが活かされることが期待できる公園
⇒旧中川水辺公園・福富川公園
亀戸中央公園や木場公園に隣接しているが、利用の連続性は見られない。鳥が多く生息することから、野鳥観察の場としてのポテンシャルが考えられる。
⇒大島三丁目公園
区立公園同士が隣接している場合、狭小で目立った特徴のない公園は利用が少ない傾向にあるため、隣接する公園にはない機能や使い方を検討することで、差別化を図ることが可能と考えられる。

■ その他：親水公園の特徴

- ・水遊び機能として夏場のにぎわいが見受けられるが、信号がないため止まることなく歩ける、水辺の景観が良く親水公園を通る等、夏以外の時期でも散歩・通過利用としての需要が高い。
- ・旧中川水辺公園や福富川河川公園、横十間川親水公園と仙台堀川公園の交差点等では、鳥が数多く生息しており、生物多様性の視点からも重要な役割を担っていると考えられる。

■ 公園利用者の声

- ・家から近いため利用する
- ・子ども達が固いボールで遊んでいて危険 / ボールが使える公園が増えると良い
- ・動線を分けてほしい（歩行者と自転車、釣りやランニング 等）
- ・木陰や日除けがない
- ・利用者が多すぎなくて良い
- ・幼児向けの遊具や遊び場がほしい / 大型遊具がほしい / 健康遊具がほしい
- ・禁止事項が多い、もっと自由に利用できるべき
- ・自動販売機や立ち寄れるお店（カフェ等）がほしい
- ・タバコを吸っている人がいる
- ・照明がなく暗い
- ・駐輪場が充実すると良い
- ・和式トイレを洋式にしてほしい 等